

## 西日本豪雨から学ぶ **課題を次に生かすには**

活発な梅雨前線の影響で先月末以降、九州南部で激しい雨が降った。14府県 275名の犠牲者を出した西日本豪雨から、ちょうど1年。「想定を越す雨」は、すでに「想定範囲内」となると覚悟する必要があるとも言われている。

鹿児島、宮崎の両県で河川の氾濫や土砂崩れがおき、2名の方が亡くなられた。長雨で地盤が緩んでいるところが多い。関係機関は警戒を続け、今後も迅速な情報発信に努めてほしいと思うばかりだ。

さて、この春ご縁があって繋がった岡山県倉敷市真備町の方々に思いを寄せてみた。広島・岡山・愛媛の各県では、自治会、住民、県・市職員、土木建築業者、ボランティアの方々の懸命な努力で復旧が進んでいる一方で、現在も仮設住宅で1万人以上の人々が仮住まいをしている。特に避難道路の復旧も遅れている。仮に避難所へ行くにも、途中には豪雨で崩れた所が幾つもあり、いまだ工事中であるという。往来する車は片側通行で、交代で5分間信号待ち、緊急時の避難を考えると不安を感じる人が多いと思う住民は少なくはないだろう。長期的な支援が求められるばかりだ。



岡山県倉敷市真備町、豪雨犠牲者の冥福と復興への思いを込めたキャンドルを見つめる参加者  
(山陽新聞さんデジHPより)

### [避難指示があったとき、どこに逃げればいいのか。]

ところで、もし避難指示が出された時、私たちはどこへ逃げればいいのか。「避難」、すなわち行政が用意した避難所に行くこと、自宅より安全な親戚・知人宅に身を寄せたり、自宅の中で水のこない高い階に避難することも「避難」にあたる。自治体などの情報は人々にどう伝わり、いかなる行動に繋がるのか、状況が落ち着いた段階で調査し、是正すべきところはそのような対応が求められる。その土地で以前どのような災害があったのか、過去を知り、そうして将来起こり得る状況を想定して次に生かす。

実際に町中を歩き、災害時の危険な箇所や避難所への経路、所要時間などを書いておく。参考になるのは内閣府が普及を呼びかけている

家族（頼りになる人）の緊急連絡先		「災害・避難カード」—わたしの情報	
氏名	連絡先（職場・携帯など）	ふりがな	
		性別	血液型
		生年月日	
		住所	
		電話番号	
		留意事項	持病、飲んでいる薬など
電話が繋がらないときは、171（災害用伝言ダイヤル）		避難時は、このカードを持って行く！	
※音声説明あり			
自分の居場所を伝える	家族の居場所を調べる		
録音「1」	再生「2」		

「災害・避難カード」である。最後頼るのは自分の判断しかない、と意識する意味でも有効ではないだろうか。準備を積むことが、いざという時の的確な判断に繋がる。

▲内閣府「災害・避難カード」(名刺サイズ)



# トウホク留学

2019年8月5日～8月7日



- ①震災のあった宮城県沿岸に赴き、被災を体験された方のお話しを聞き取る。
- ②学校交流を通して、防災への取り組みを具体的に知る。
- ③体験した内容を記録にまとめ、被災地のいまを知り防災意識を高める。

留学メンバーの意気込み!!!

…を目的として東日本に行ってきます!!!

私は4年前程に1度、宮城に行ったことがあります。私が行った地域はショッピング施設やレストランなどがたくさんあり、とても賑わっていて「綺麗な街だな」と思いました。しかし、帰ってきてからニュースを見てみると、まだ建物が何も無い土地が広がっていたり、仮設住宅が並んでいる光景を目にして、とても驚いたことを覚えています。

今回、私は宮城を訪れることはできませんが、実際に現地を訪れる人達と情報を共有してもう1度、現状や支援活動の在り方などについて学び直したいと思います。

現地に行けない分、実際に足を運んでくれた生徒の話聞いて、私は「被災地」に対しての私たちの在り方を見つめ直し、これからの支援活動の変化をもたらししていきたい。現地に足を運べないことは本当に残念だけれども、ずっと実行したかった計画なので情報を共有してこれからの委員会活動にも、学校にも、被災地や震災について考えなおすいい機会だと思う。

東北に行くことは初めてで被災地に行って、人の話を聞いたり、七夕を見れることはとても楽しみです！そして楽しむだけではなくて、博物館に行ったりして被災のことを知ることも大事だし、被災したところを行ってみてどうだったかということ話し合うことも大事だから、しっかり振り返りたいです！

私はずっと東日本に行って現状を自分の目で見たいと思っていました。だから、現地で感じたことはたくさんメモしたいと思います。

また多賀城高校、舞子高校との交流はとても貴重な経験になると思います。

この交流を通して、支援のあり方を見つめ直し防災について理解を深めたいと思います。

今回の東北留学で災害についてしっかり学びたいと思います！又、行った後も現地の人とお話ししたことや博物館で学んだことをまとめられるように頑張りたいです！七夕祭りなどもとっても楽しみです♡♡東北留学で聞いたこと見たことをしっかりメモして文化祭の発表の時にみんなに興味をもってもらえるように頑張ります！

私は、はじめ友達に誘われこの留学に参加しようと思いました！はじめは東日本大震災についてあまり興味がありませんでした。

学校の総合の授業を受けたり、被災地実行委員会さんが活動(募金活動や鞆配布)してくれてるのを見たりしているうちに私も、少しでも皆に災害の深刻さを伝えたいと思いました。

東北留学で一番楽しみなことは七夕まつりです！

楽しみなことは別に資料館などに行く予定なので、色々なことについて学んで帰りたいと思います！

そして、東北留学を通して学んだことを少しでも多くの人に伝えられるようにしたいと思っています！